

日本天文学会昭和46年度春季年会記事

昭和46年度春季年会は5月19日(水)～22日(土)の4日間、東京都文京区本郷・東京大学理学部2号館講堂において行なわれた。講演数106、出席者約240名、21日には通常総会が行なわれた。

発表された講演数、座長は次の通り

	講演数	座長
5月19日	午前 13	鈴木義正
	午後 20	斎藤国治, 河鱈公昭
5月20日	午前 13	大沢清輝, 小尾信弥
	午後 19	須田和男, 一柳寿一
5月21日	午前 12	高瀬文志郎
	午後 9	早川幸男
5月22日	午前 13	大沢清輝, 須川 力,
	午後 7	清水 彊

なお、20日午後1時半から本郷学士会館で、天文教育懇談会(天文用語について)が開かれた。

21日午後2時半から講演会場で、通常総会および天体発見賞贈呈式が行なわれた。

総会議長: 宮本正太郎理事長

総会次第:

1. 開会
2. 天体発見賞贈呈の件
3. 昭和45年度会務報告
4. 昭和45年度会計報告
5. 会費値上げの件
6. 昭和46年度予算
7. 次期理事長, 副理事長の選出
8. 次期理事指名
9. 欧文研究報告編集委員委嘱
10. 大塚奨学金選考委員委嘱
11. 会計監査選任
12. 新理事長挨拶
13. 天文学会の改革について
14. 閉会

◎天体発見賞贈呈の件

原案通り承認され、新彗星1970gに対し阿部修氏、新彗星1970mに対し鈴木繁道氏、新彗星1970rに対し小島信久氏、新彗星1971aに対し鳥羽健次氏にそれぞれ天体発見賞が贈呈され、新彗星1970mに対し佐藤安男、関勉、小林徹、多胡昭彦の諸氏にそれぞれ発見功労賞が贈呈された。

◎昭和45年度会務・会計報告は原案通り承認された。

◎会費値上げの件は原案通りに、特別会員は年額3,200円を5,000円に、通常会員は年額1,000円を1,800円に値上げすることが承認された。

◎次期役員は原案通り次の諸氏に決った。

(○印……法定理事 *印……編集長)

理事長: ○奥田豊三

副理事長: ○海野和三郎, ○田中春夫

理事

庶務: ○高瀬文志郎, ○牧田 貢

会計: ○田鍋浩義, ○新美幸夫

編集:

欧文報告 内田 豊, ○海野和三郎*, ○寿岳 潤

日江井栄二郎, 堀源一郎

天文月報 磯部秀三, ○成相恭二, 畑中至純

○森本雅樹*, 横尾広光

支部理事:

北海道 坂下志郎

水 沢 岡本 功, ○角田忠一

仙 台 ○須田和男, 竹内 峯

東 京 大沢清輝, ○小平桂一, 近藤雅之

田中靖夫, 原田健久, 村山定男

森 巧

名古屋 鯨目信三

京 都 石沢俊亮, ○大谷 浩, 椿都生夫

舞原俊憲

中国・四国 石田五郎, ○三沢邦彦

欧文研究報告編集委員:

大沢清輝, 奥田豊三, 古在由秀

清水 彊, 末元善三郎, 田中春夫

林忠四郎, 一柳寿一, 宮本正太郎

大塚奨学金選考委員:

海野和三郎, 下保 茂, 川口市郎

古在由秀, 須川 力, 田中春夫

会計監査: 広瀬秀雄, 藤田良雄

◎天文学会の改革について

改革委員長より、新定款案についての反対意見がまだ公けにされていないので、それを公けにしなければ現在の事態を進展させるわけにはいかないのでは是非実現してほしいという要望があり、それにもとづいて総会でこの問題を取り上げることになった。

理事長および改革委員長から経過報告があり、その後新定款案に反対の意見が述べられた。主として、会員の種別と権利義務に関してであった。それらの意見にもとづいて一般討論を行なった。最後に「申し合わせ」を承認した。(全文は天文月報6月号167頁参照)

昭和45年度(1970—1971)会務報告

昭和45年度は、本会創立63年度、社団法人設立後37年にあたる。

本年度に行なった事業

(イ) 出版

1. 欧文研究報告 (Publication of the Astronomical Society of Japan)

第22巻 第2号 120頁 (昭和45年 8月25日発行)

第22巻 第3号 172頁 (昭和45年 10月25日発行)

第22巻 第4号 166頁 (昭和45年 12月25日発行)

第23巻 第1号 126頁 (昭和46年 3月25日発行)

2. 天文月報

第63巻第4号から第64巻第3号まで毎月発行

3. その他

昭和46年2月に、昭和45年末日現在の本会会員の名簿を発行

(ロ) 年会

1. 春季年会

昭和45年5月12日～15日 東京都・文京区民センター3階大会議室で開催、講演数130、出席者約240名

2. 秋季年会

昭和45年10月27日～30日 京都市・府立文化芸術会館ホールで開催、講演数116、出席者約250名

総会および評議員会

(イ) 通常総会

昭和45年5月13日午後5時より文京区民センター3階大会議室で開催

議長：宮本理事長

- 議題：1. 天体発見賞贈呈の件
2. 昭和44年度会務報告
3. 昭和44年度会計報告
4. 昭和45年度予算
5. 次期評議員改選の件
6. 運営検討委員会の答申について

(ロ) 評議員会

1. 昭和45年4月18日 午後1時より東京大学理学部天文学教室会議室で開催

議長：藤田良雄

- 議題：1. 昭和44年度会務報告
2. 昭和44年度会計報告
3. 昭和45年度予算案
4. 天体発見賞および功労賞
5. 評議員改選の件
6. 運営検討委員会の答申について

2. 昭和45年5月12日 正午より東京都文京区民センター3-D会議室で開催

議長：籙木政岐

- 議題：1. 総会提出議案の確認
2. 天体発見賞の副賞について

3. 運営検討委員会の答申について

その他の主な会務

- (イ) 天体発見賞および功労賞贈呈(5月1日)

藤川繁久(彗星1969d 1969年8月13日発見), 多胡昭彦(彗星1969g 1969年10月10日発見), 金井清高(彗星1970a 1970年1月27日発見, 本田実(へび座新星1970 1970年2月14日発見, わし座新星1970 1970年4月15日発見)の諸氏に天体発見賞, 佐藤安男, 小坂浩三(1969g), 大道卓, 藤川繁久(1970a)の諸氏には独立発見として功労賞が贈呈された。

- (ロ) 昭和45年度本会奨励研究生には小川喜弘, 暮泉武, 佐場野裕, 渡辺憲昭の4氏を決定した。(7月1日)

- (ハ) 米國太平洋天文学会より関勉氏へ与えられたコメント・メダルの伝達式を東亜天文学会と共催で行なった。(8月23日)

- (ニ) 東京天文台一般公開を後援した。(10月13日)

- (ホ) 昭和45年度大塚奨学金受領者の該当者はなしと決定した。(10月27日)

- (ヘ) 東レ科学技術研究助成候補として1件申請した。(10月31日)

- (ト) 日本学術会議中央選挙管理会より昭和46年11月に行なわれる会員選挙に関して、臨時委員の推薦を依頼してきたので、牧田貢氏を推薦した。(11月1日)

- (チ) 文部省より昭和45年度研究成果刊行補助金として欧文研究報告に対し270,000円が交付された。(11月10日)

- (リ) 学術会議に対し科学研究費配分審査委員候補者として、河鱈公昭, 川口市郎の両氏を推薦した。(12月5日)

- (ヌ) 従来の天文学会運営検討委員会を解散し、新たに新定款実施への実行可能な具体策を検討するために日本天文学会改革委員会をつくった。(12月8日)

- (ル) 文部省学術審議会学術用語分科会専門委員の補充として、堀源一郎氏を推薦した。(昭和46年1月20日)

- (ヲ) 地球回転に関する国際会議に対し後援団体となり、また募金に協力することになった。(2月1日)

学術交流関係会務

- (イ) 年会発表者に対する旅費の補助を行なった。

- (ロ) 各種研究会に対して旅費の補助を行なった。

会員数 (3月31日現在)

	本年度	昨年度
名誉会員	5	(5)
特別会員	385	(360)
通常会員	1,394	(1,427)
賛助会員	40	(47)